

Q1

あなたが消防士を目指したきっかけを教えてください

A1

幼少期から医療職に就きたいと考えていて、なんとなく医師や看護師を目指していました
中学生の頃に普通救命講習を受けた際、救急現場から傷病者を処置しながら病院の医師のもとまで搬送するという救急救命士の仕事に強く憧れたのがきっかけです

Q2

採用前後でイメージのギャップ等ありましたか？

A2

消防署には小学生の時に施設見学でしか入ったことがなく、閉鎖的なイメージがありました
しかし、体育館の貸し出しや各種届出の提出、消防署の見学などを行っており、一般の方の出入りが意外と多いことに驚きました

Q3

仕事のやりがいを感じるのはどういう時ですか？

A3

施設見学や避難訓練の際に子どもたちから、女の人がいる！と驚かれるのですが、その勢いのまま消防車のことや災害について様々な質問をしてくれます
それをきっかけに消防の活動へ関心を持っていただけるようお話することにやりがいを感じています
まだ不慣れなため子どもにも分かりやすい言葉で説明するのは難しいですが、先輩方の姿を見ながら説明の仕方を模索しています

Q4

消防士を目指す皆さんへメッセージをお願いします

A4

消防は男性職員が多いイメージが強いかもしれませんが、時代とともに変化していて、女性消防職員も増えてきています。私は「女性だからできない」ではなく、「女性だからこそできる」ことが多くあると考えています
消防業務には危険を伴う仕事もありますが、訓練を重ね、努力することで女性でも活躍できる場面はあります。私たちと一緒に挑戦してみませんか？